

第7回懇話会の議事概要及び対応について

項目	主な意見（要旨）	最終案における対応	
【資料 2】 勾当台公園再整備基本計画（素案） について	再整備の視点	「Ⅲ.基本計画」に示す「再整備計画テーマ」の「心がつながる」について、いこいの広場の展望テラスも滞留の場所として大切な場所であり、緑色の囲みに加えても良いのではないか。	展望テラスを緑色の囲みに追加した。（P.6） なお、「再整備計画テーマ」は、「再整備の視点」とした。
	各広場の性格付け	勾当台公園は、市民にとって特別な公園であり、市民とともに育てていく、つくりあげていくということをもっと前面に出しても良いのではないか	「各広場の性格付け」は、基本構想に示す「基本理念」を踏まえ設定しており、基本理念においては「みんなが使い・育てる私たちが誇りに思う庭」となる公園を目指すとしていることから、改めてこの基本理念を掲載した。（P.7）
		「広場の性格付け」というものがあるが、基本計画で大事なことはコンセプトをきちんと位置付けることだと思っている。各広場を一言で表すとどのような広場を整備するのかということである。性格付けの下に、もう少しイメージできる文言があっても良いのではないか。 また、各広場同士の関係性に関してはあまり言及されていないため、整理されると理解しやすいのではないか。	「広場の性格付けを実現するための大事なポイント」と「共通する再整備の視点」を追記した。（P.7）
	にぎわいの広場	にぎわいの広場の「出会いのテラス」が勾当台公園の表玄関になると考えるが、これまではイベントの際に通過するだけの場所だったことから、ここの設えによって勾当台公園の魅力が高まると思う。	出会いのテラスがメインエントランスの一つになると考えており、公園の表玄関にふさわしい整備を今後の設計において検討していく。
	いこいの広場	災害時の一時的な避難場所として、市役所や市民広場が使われると思うが、いこいの広場も活用できるのではないか。市役所からわざわざ災害物資を持ち出す手間を省くため、可能であれば、誘致する民間施設に備蓄などの防災機能を持たせても良いと思う。	防災機能については、民間施設との連携も含め今後検討していく。
		いこいの広場上段部の展望エリアについて、ベンチは南西側を向けて、高い位置から低い位置を眺望するような配置が好まれると思うので、座った際に植栽によって視界が阻害されないように検討して欲しい。	展望エリアのベンチについては、配置や方向なども含め今後の設計において検討していく。
		中心部を歩いている子供連れの家族が少なくなっていると感じており、勾当台公園の再整備は、そういう人達を中心部に引き付けるチャンスだと思う。いこいの広場の民間施設の脇に、例えば、池袋の「イケサンパーク」にあるオブジェのような、子供が遊べる遊具のようなものを置き、子供を遊ばせながら目の届くところで親が休憩できるようにすれば、子育て世代にとって魅力ある公園になると思う。	子育て世代の利用も踏まえた民間施設の誘導や子供の利用も踏まえたデザインの導入などについて、今後検討していく。
		いこいの広場の芝生広場が2つに分かれているが、できるだけ広く芝生空間を取ることを意識することが大事だと思う。園路が十字に設けられているが、「志賀潔」の彫刻前の園路は不要かもしれない。アイレベルで見たときに、これまでになかった広場を実現することが大事である。 子供や子育て世代がたくさん来園することを考えると、勾当台通沿いのエッジをどのようにするかが大事だと思っている。例えば、公園側の高さを少し高くするとか、灌木や多年草を植栽し車が見えないようにすることで、囲われ感を出すこともできるのではないか。	日常やイベント時の利用も踏まえ、今後の設計において検討していく。
	バリアフリー (いこいの広場)	展望テラスへは、南西からのアクセスが一番多いと想像でき、いこいの森の中を車いすが通れると良いのではないか。	いこいの森側からも展望テラスにつながるバリアフリーの園路については、仮に設けようとする影響範囲が広く、既存樹木の伐採などを伴うことから難しい。多少遠回りにはなるが、本公園周辺のバリアフリー化された歩道を利用していただきながら、展望テラスにアクセスしていただきたいと考えている。
		いこいの広場の再整備計画案について、バリアフリーのスロープを設けるということはとても良いことだと思うが、もう少し分かりやすく示して欲しい。	スロープデッキの表示を修正した。（P.8,10）
鳥瞰パース	一般の方に再整備を理解してもらうには、やはりパース図であり、キャプションがイメージを誘導する。少し長いと思うぐらいのキャプションを記載しても良いと思う。	パース図にキャプションを追記した。（P.12,13,14）	

項目		主な意見（要旨）	最終案における対応
【資料2】 勾当台公園再整備基本計画（素案）について	グリーンインフラ	「グリーンインフラ整備の方針」について、冒頭の数行の文章が一般的な内容にとどまっている。例えば、暑熱の影響をみどりでどの程度緩和するのか、公園全体で雨水の貯留量や浸透量はどのくらいかなど、もう少し踏み込めないか。	数値的なものを示すことは難しいが、昇熱緩和や雨水の浸透・貯留に関する考え方を追記した。（P.16）
	防災	「防災強化の方針」について、勾当台公園は地域避難場所に指定されており、防災強化ということであれば、もう少し何ができるのか、勾当台公園がどのような役割を担うのかということ表現しても良いのではないか。	具体的な防災機能については、今後の設計において、関係部署と協議しながら検討していくが、災害時の防災拠点としての機能強化を図ることを追記した。（P.18）
	照明計画	照明計画について、最低照度を確保すれば良いと読めてしまい、あまり明るくならないように感じてしまう。再整備によって、これまでよりは安全性が増すような表現をしてはどうか。	照明環境の向上によって、夜間の安全・安心にもつなげることを追記した。（P.24）
	管理運営	民間施設をパークPFI、指定管理者制度、設置管理許可などどのような手法を用いて設置するのか。施設自体は再整備にあわせて建てるのか、再整備後に建てるのか。それによって設計が変わると思うので、方向性は考えておいた方が良いと感じた。	民間施設の誘導手法や設置時期については、今後、民間事業者へのヒアリングなどを行いながら、検討していく。
	周辺施設	<p>勾当台公園の再整備に伴い、周辺の建物も勾当台公園やこのエリアを意識した利用や建替えをしてもらえるようなアピールが必要かと思う。</p> <p>市民広場の駐輪場やバイク置き場の位置、それらへのアクセスをどうするのか整理したものがあるのも良いと思う。関連して、周辺の道路計画についてももう少し示しても良いのではないかと思う。</p> <p>表小路線の舗装の色が中途半端な位置で変わっている。市民広場との一体的な利活用を考えているのであれば、市民広場の西端まで同様の舗装にした方が良いのではないか。</p> <p>また、再整備計画案とパース図を見比べると、つなぎ横丁と第一生命ビル北側の道路の舗装の色が逆になっている。</p>	<p>周辺の建物については、本市としても公園に配慮した利用や建替えが進むことを望んでいるものの、それを計画に示すことは難しいが、にぎわいの広場を含む一定のエリアについて、一体的利活用空間となるような場所であるということを示している。（P.21、青破線）</p> <p>駐輪場やバイク置き場、周辺道路の計画を基本計画に示すことは難しいが、具体的にどのようにするのか、今後道路管理者と協議していく。</p> <p>整備計画案とパース図を修正した。（P.8,9,12）</p>